

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.162

2019. 4. 1

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

広めよう！「安倍9条改憲 NO！憲法をいかに全国統一署名」

岩手の3,000万署名数は16万8千筆（3月末現在）

署名ハガキ付き新チラシ207通・605筆分の返信あり

◇3月2日北上合同一斉アクション新チラシ一斉配布行動実施

アクション 3,000 万署名岩手の会主催で実施。当日は全県から 100 名が参加し、北上



市内で返信ハガキ付き署名チラシを 2 万枚配布しました。当日参加された方々、配布準備に関わった北上のみなさん、たいへんお疲れ様でした。署名ハガキは現在までに 207 通・605 筆分が届いています。そのうち北上地域からは 100 通・220 筆を超えるハガキが届いていますよ！

他の地域でも、街頭での配布や地域配布、新聞折込などを計画してすすめていますので、みなさんの地域でもチラシを活用して、さらに署名を広めていきましょう！



◇盛岡でも新チラシ一斉配布を実施

3月16日には盛岡地域9条の会連絡会を中心に15名が参加し、9条の会がない地域で一斉配布を実施。上堂・安倍館地域に1,500枚を配布しました。

《岩手の会新チラシを地域配布にドンドン活用ください！》

新チラシは無料です。部数と引取方法を、事務局（岩手県生協連）までご連絡ください。

お知らせ

貧困や不正義とたたかう弁護士“うつけん”来盛！

「5・3憲法集会 in いわて」開催

5月3日（祝・金）13:00～15:00（12:35～オープニング演奏）

岩手教育会館 2階多目的ホール ※終了後、ピースパレードを予定。

講師：宇都宮 健児さん 主催：安倍9条改憲 NO! 全国市民アクション岩手の会



参加無料

「9条の会東北交流会 in 福島」

昨年は岩手で開催した毎年恒例の交流会。今年は福島で開催します。

4月23日（火）13:00～16:30 福島市アオウゼ MAX ふくしま

参加無料

内容：全国九条の会世話人小森陽一氏講演、各県9条の会活動報告など。

《限定10名！新幹線代を補助します！》 自己負担3,000円 **募集締切／4月5日**

参加申し込みは、岩手県生協連まで。

変えよう！アベ政治！「バレンタインデー行動」～ピースアクションいわて～

岩手県内の女性5団体で構成する「ピースアクションいわて」では、バレンタインデーの2月14日に盛岡地方裁判所前交差点で昼休み30分のレッドアクションに取り組みました。当日は男性3人も含め20人が参加してスタンディングとリレートークを実施。この日は、沖縄・辺野古新基地建設の埋め立ての是非を問う県民投票の告示日と重なり、沖縄連帯を込めたトークを皮切りに6人の女性が、毎月勤労統計の不正問題や執拗な改憲の動き、消費税10%増税、子育てなど、安倍政権の下で日々感じている不安や怒りを訴えてアピール。アクション3,000万署名岩手の会が新しく作成した署名ハガキ付チラシも配布しましたが、受取りがよく信号待ちで目を通す姿もみられました。3月1日には「ひな祭りパレード」を実施。参加60人で市民に訴えました。

4月10日昼にも、裁判所前で「アベ政治を変えよう！レッドアクション」を行います。当日は赤いものを身につけてアピールしていきますので、ご都合のつく方はぜひご参加ください。（新日本婦人の会岩手県本部・渋谷靖子）



「春を呼ぶ平和のつどい」開催～都南9条の会～

毎年恒例のこの企画、今年は2月16日に参加36名で開催しました。第一部はデュオユニット「パートタイム」さんによる“夢・希望、平和を歌うコンサート”を実施。沖縄に思いを馳せて「タンポポ」や、オリジナル復興支援ソング「負けないみんなで一歩ずつ」、「青い空は」などを披露。澄み渡る声が心に染み渡りました。「語ろう、うたおう『9条・平和、私の思い』」と題した第二部は、2名の方からのスピーチ後、参加者全員で平和や9条への思いを川柳に。49句の中から、「残そうね 平和な未来を 子どもらに」など投票で3句が最高点をとりました。



参加者からは、「いち早く春の訪れを感じたひととき。心地よい歌声に気持ち明るくなった。」「9条は現在・未来を生きる人たちだけでなく、戦争で犠牲になった方々のためにも守る必要がある」等の感想が聞かれました。

コラム＝「朝鮮半島の平和のプロセス」に逆行する安倍首相！日本国民は改めて「反対」です

去る2月27日から28日、ベトナム・ハノイにおける「米朝首脳再会談」に、多くの日本の国民は国際社会とともに「非核化の進展で平和」と期待を持ったと思います。しかし、残念なことには会談開始早々に「物別れ」となりました。こんなこと誰が予想しておったことでしょうか。それに反して日本政府側だけは、「変な合意になるよりはましだ（要旨）」との反応でした。しかし、日本国民にとってそうだったのでしょうか。

日本国民は、報道を中心にした「言論戦」を見ておくことがいいのではないのでしょうか。曰く、「トランプ大統領は『完全な非核化』を要求！」「北朝鮮・金委員長は『部分的非核化』と『部分的制裁解除』を要求！」。それに対し「トランプ大統領は『制裁解除は完全非核化後』と答えた」と。それで埒が明かず「物別れ！」となったことがその「言論戦」から読み取れと思います。

また、米公共放送 PBS はその背景は「強硬派・ボルトン大統領補佐官の存在や大統領が韓国ではなく、日本政府の助言を聞いた」とする米政権筋の話を報道。米シンクタンクの一つは「実践的・互恵的な措置のみで非核化と平和に近づける」と警告したとも。そういえば安倍首相は「日米韓の緊密な連携」「完全な非核化と圧力維持」の主張だったことが想起されます。

加えて最近韓国大統領府高官は、「非核化『一度に困難』『交渉戦略再考を』」と発言。更に日本の報道番組で、韓国人コメンテーターが「米国も『相応の措置』『見返り』を出して、『段階的な非核化』の議論が必要」と発言するまでなっています。安倍首相に求められるのは「流れに掉さず」ことではなく、この「コラム」でも指摘しておったように「朝鮮半島の非核化の議論は段階的に、相応の措置を取りながら行なう」ことだと思います。加えて韓国・朝鮮に対して「正しい歴史認識」に立って行動することだともいます。

これが日本国民の求めていることではないのでしょうか。日本の国民運動で「声」をあげましょう！（T）

4月の署名活動 9日(火)12:30～13:00 盛岡市大通・野村證券前

3,000万署名の街宣署名行動を行います。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。